

令和元年度
網走市における景気動向調査
<第Ⅲ四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領

- 1-1. 調査時点及び調査対象期間 1
- 1-2. 調査対象 1
- 1-3. 調査方法 1
- 1-4. 回収状況 1

第2章 概況

- 2-1. 全体の動き 2
- 2-2. 業種別の動き 3

第3章 各判断項目回答割合と天気図

- 3-1. 記号説明 4
- 3-2. 業況 4
- 3-3. 採算 10

第4章 産業別経営上の問題点

- 4-1. 回答実数 11
- 4-2. 回答割合 11

第5章 産業別設備投資の状況 12

第6章 業界の景気動向等その他のご意見 13

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点：令和元年10月1日(火)～元年12月31日(火)

(2) 調査対象期間：令和元年10月～12月期実施、及び令和2年1月～3月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業(30件)、製造業(23件)、卸売業(20件)、小売業(38件)、サービス業(44件)の156社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

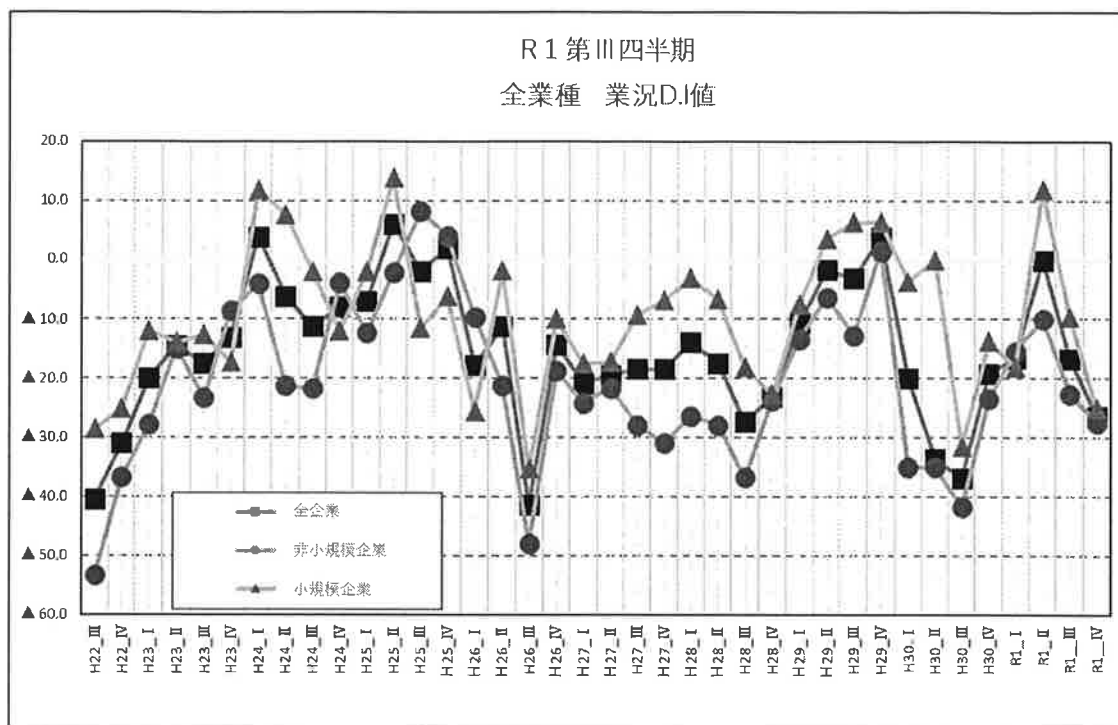
1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		30件	25件 (非小規模企業:12件) (小規模企業:13件)	83.3%
製造業		23件	17件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:8件)	73.9%
卸売業		20件	14件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:5件)	70.0%
小売業		38件	26件 (非小規模企業:15件) (小規模企業:11件)	68.4%
サービス業		44件	33件 (非小規模企業:17件) (小規模企業:16件)	75.0%
合計		155件	115件	74.2%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下(卸売業、小売業、サービス業は5人以下)を示している。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



令和元年度第Ⅲ四半期（10月～12月）の業況は、前年同月比で「好転企業」16.7%「悪化企業」33.3%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は▲16.6と大きく後退し、前期から今期にかけて悪化傾向を示しました。

業種別で見た業況は建設業が12.3ポイント悪化し▲8.0、小売業20.6ポイント悪化の▲38.5、サービス業12.5ポイント悪化で3.1、製造業は7.7で前期と変化なし、卸売業は21.4ポイント改善し、0.0と卸売業、製造業を除く他の業種は全て悪化傾向を示しました。特に小売業は大きく悪化しました。

次期（1月～3月）の業況判断D.I値は、今期と比べ7.4ポイント悪化し、▲26.3を予想しております。業種別では小売業が6.1ポイント悪化し▲34.6と改善傾向を示していますが、それ以外の業種では建設業▲20.0、製造業▲7.7、卸売業▲21.5、サービス業▲18.8と大きく悪化するとしています。

経営上の問題点としては「人材不足」が全体の54.4%を占め、第Ⅱ四半期との比較で3.5%改善したものの依然解消されていなく深刻さを増している状況にあります。また、「人件費増」「諸経費増」を問題にしている企業が多くあります。また、今期の特徴として「売上の不振」「得意先の減少」が増加傾向にあります。

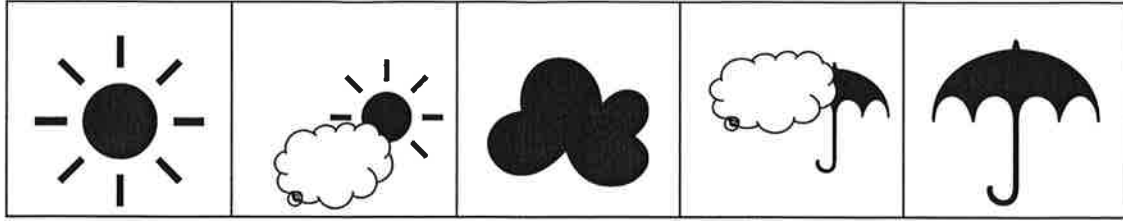
全体としては、第Ⅱ四半期では改善傾向にありましたが、今期再びマイナス水準に逆戻りし、次期業況においてはさらにマイナス水準が継続する予想となりました。今期から消費税増税や軽減税率制度の導入、新型コロナウイルスの影響などもあり、依然として予断を許さない状況にあるといえ、全業種とも経営改善に向けた対応が強く求められています。

2-2. 業種別の動き

業種	規模/項目	売上高 (建設業は完成工事高)			採算			次期 (D.I値)		
		増加	減少	DI	増加	減少	DI	業況	売上	資金繰り
建設業	小規模	23.1	30.8	-7.7	24.0	40.0	-16.0	-38.5	-53.8	-23.1
	非小規模	16.7	25.0	-8.3	16.7	58.3	-41.7	0.0	-16.7	8.3
	全体	20.0	28.0	-8.0	19.2	30.8	-11.6	-20.0	-36.0	-8.0
製造業	小規模	0.0	50.0	-50.0	0.0	25.0	-25.0	-50.0	-50.0	-12.5
	非小規模	22.2	22.2	0.0	33.3	33.3	0.0	-33.3	-11.1	-22.2
	全体	11.8	35.3	-23.5	17.6	35.3	-17.6	-41.2	-29.4	-17.6
卸売業	小規模	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非小規模	0.0	44.4	-44.4	11.1	33.3	-22.2	-33.3	-44.4	-11.1
	全体	7.1	35.7	-28.6	14.3	28.6	-14.3	-21.4	-28.6	-7.1
小売業	小規模	18.2	36.4	-18.2	18.2	27.3	-9.1	-18.2	-18.2	-18.2
	非小規模	6.7	60.0	-53.3	6.7	53.3	-46.7	-46.7	-53.3	-40.0
	全体	11.5	50.0	-38.5	9.7	35.5	-25.8	-34.6	-38.5	-30.8
サービス業	小規模	33.3	20.0	13.3	26.7	33.3	20.0	-13.3	-13.3	-20.0
	非小規模	17.6	23.5	-5.9	23.5	35.3	-11.8	-23.5	-23.5	0.0
	全体	25.0	21.9	3.1	28.1	28.1	0.0	-18.8	-18.8	-9.4

第3章 各判断項目回答割合と天気図

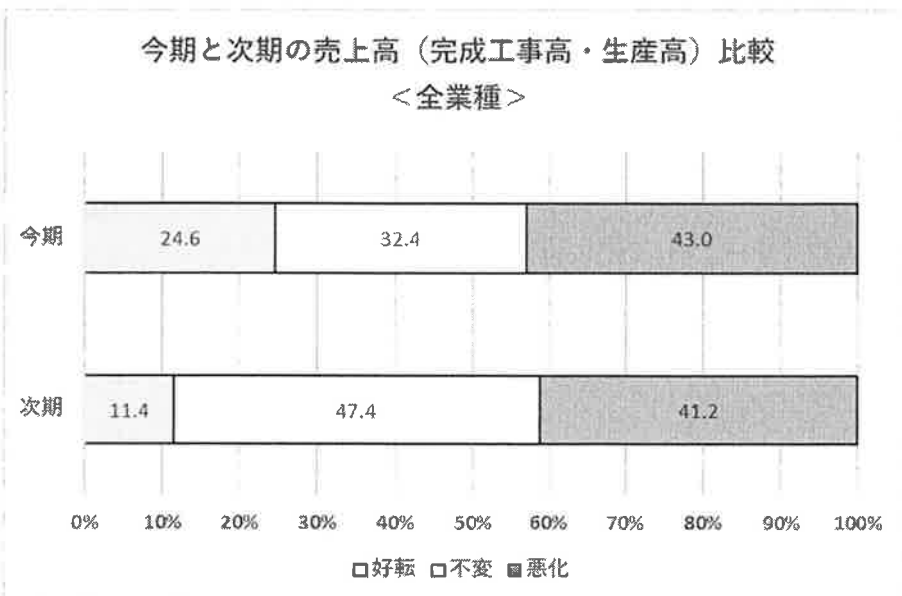
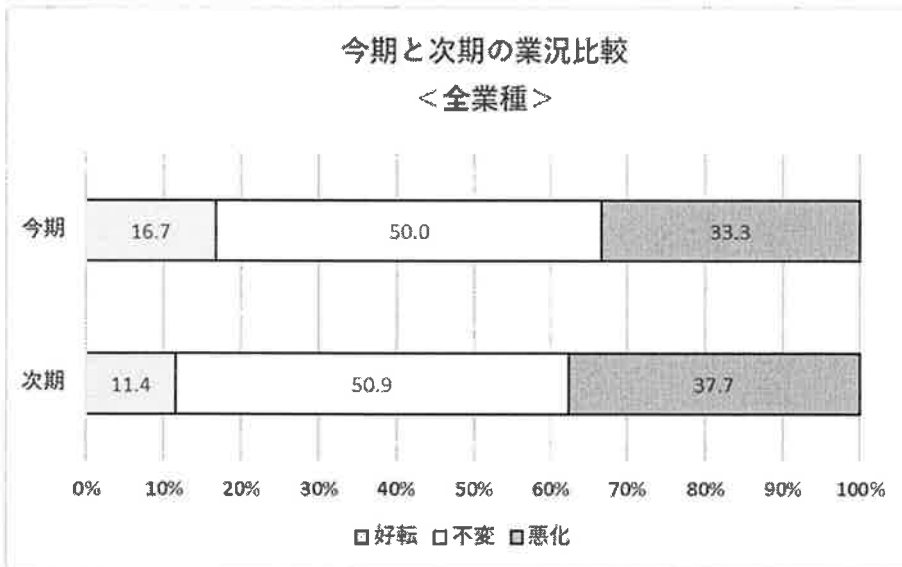
3-1. 記号説明

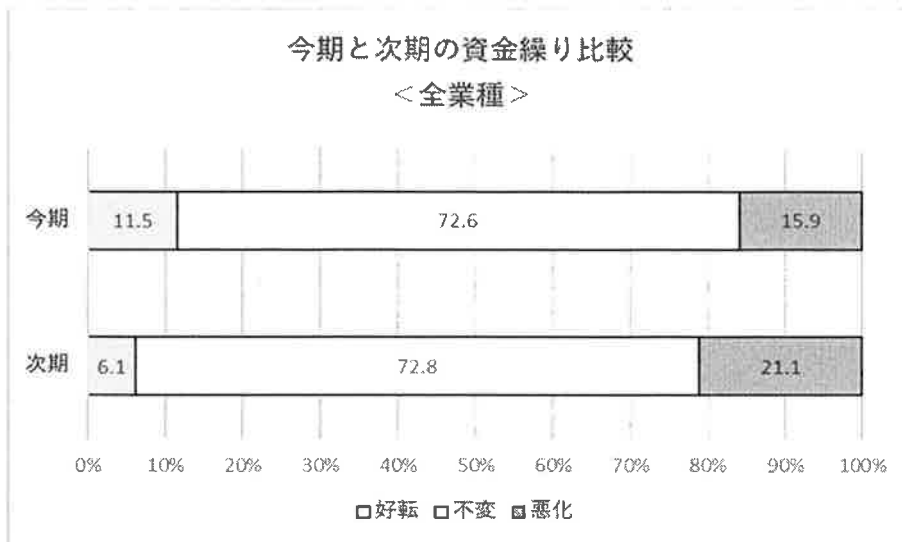


とくに好調 (D.I. ≥ 50) 好 調 (50 > D.I. ≥ 25) まあまあ (25 > D.I. ≥ 0) 不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25) きわめて不振 (▲25 > D.I.)

3-2. 業況

全業種



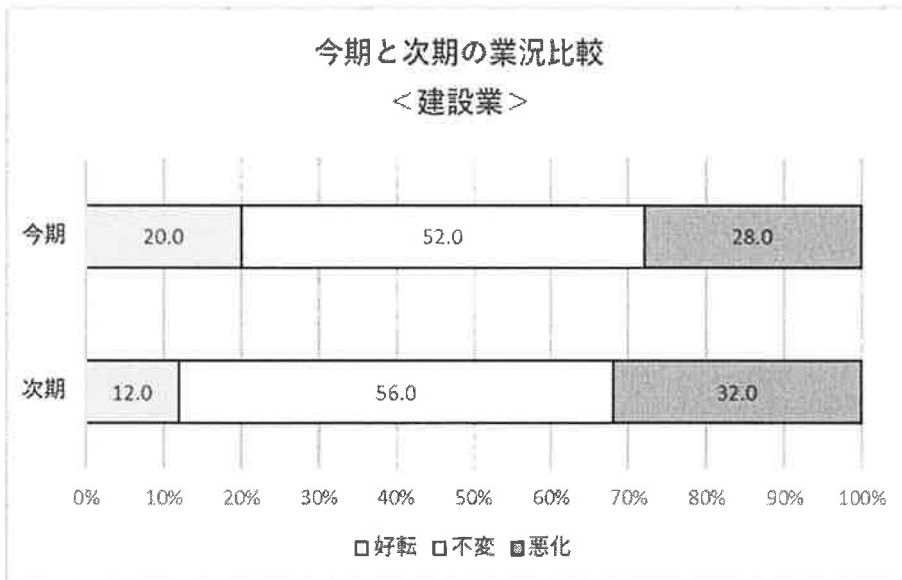


▲ 4.4



▲ 15.0

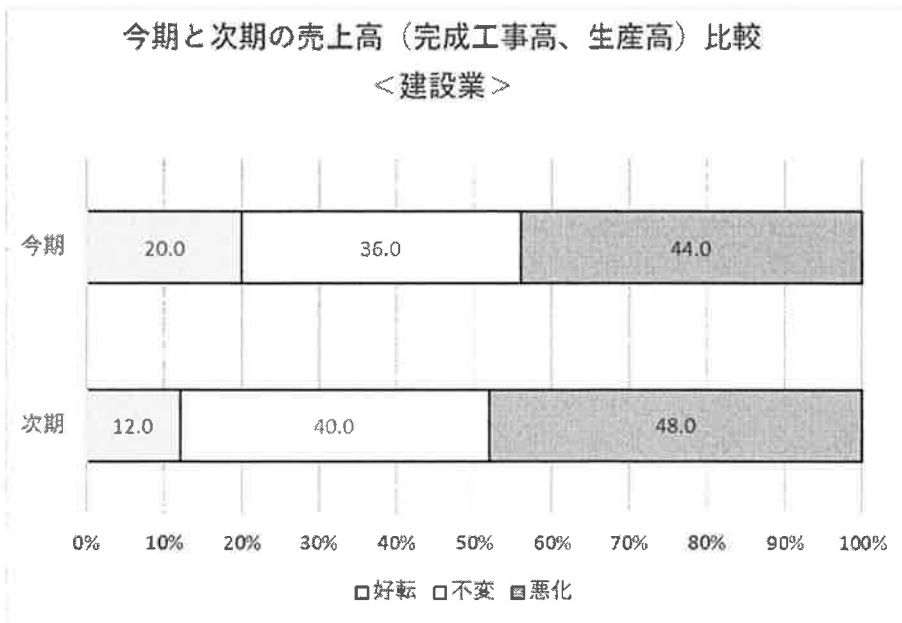
建設業



▲ 8.0



▲ 20.0

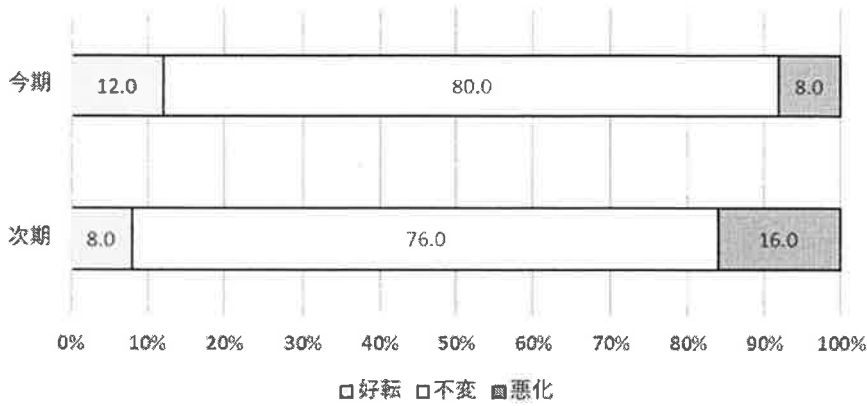


▲ 24.0



▲ 36.0

今期と次期の資金繰り比較
 <建設業>



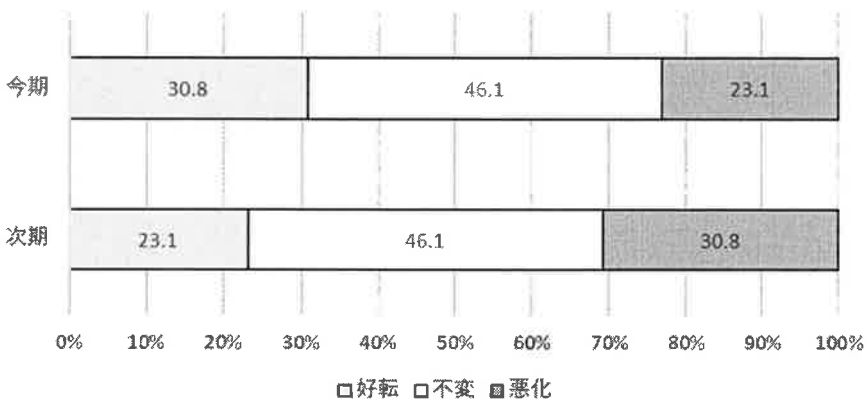
▲ 4.0



▲ 8.0

製造業

今期と次期の業況比較
 <製造業>

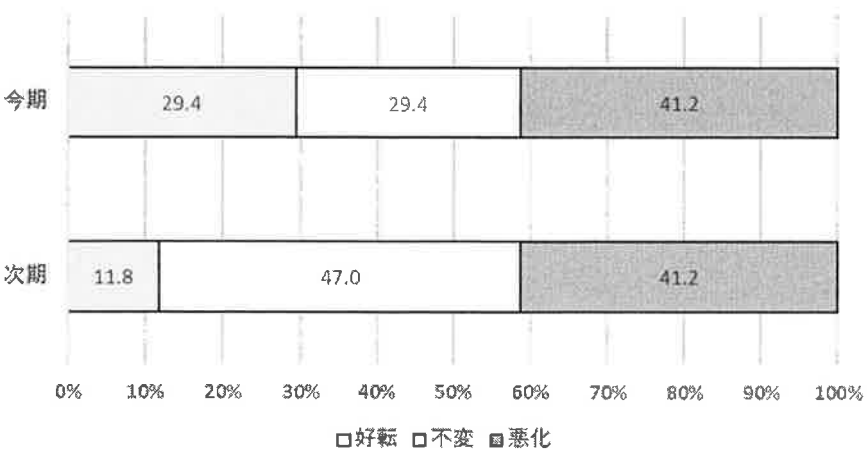


7.7



▲ 7.7

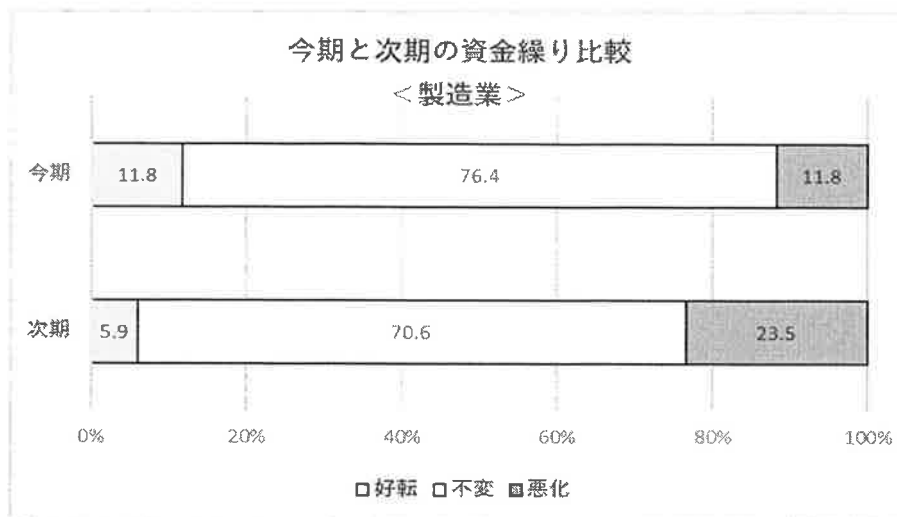
今期と次期の売上高（完成工事高、生産高）比較
 <製造業>



▲ 11.8



▲ 29.4

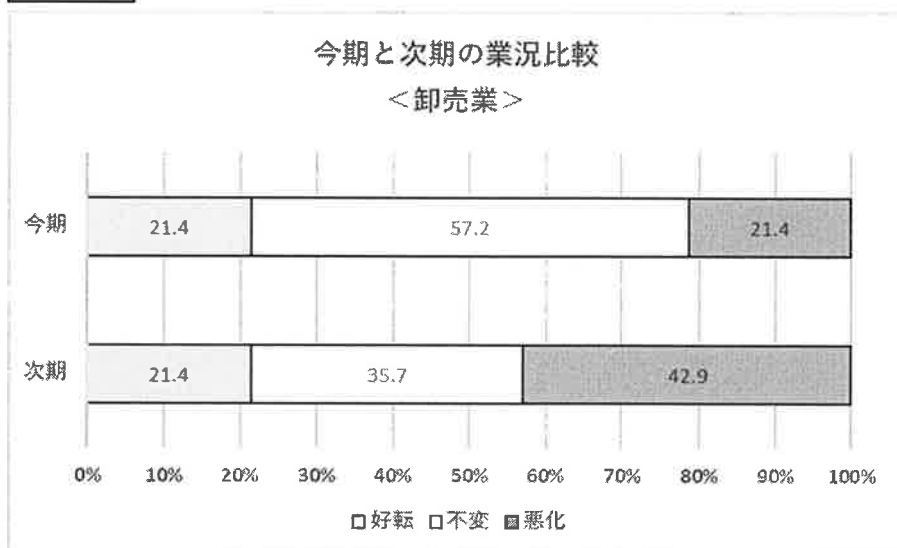


0.0



▲17.6

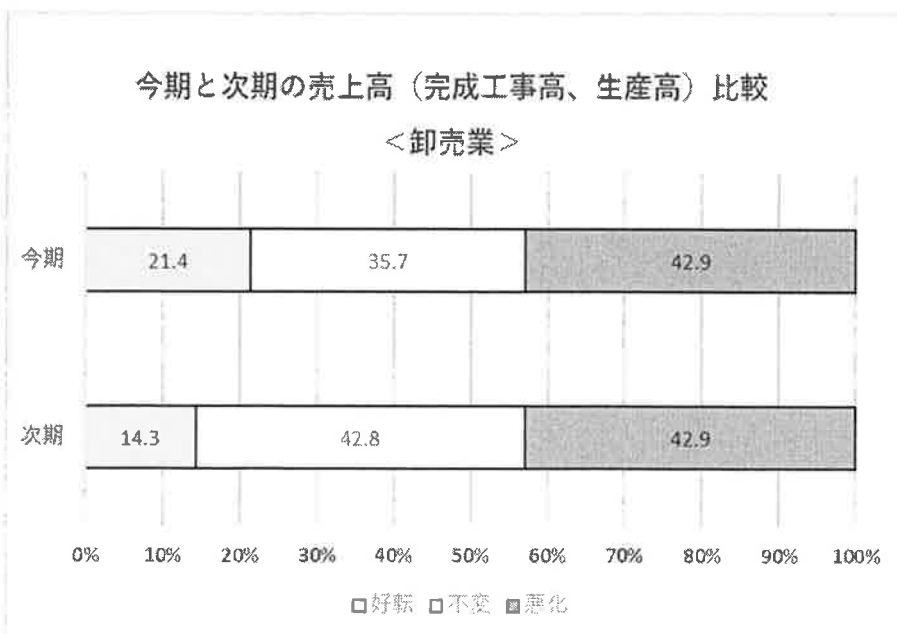
卸売業



0.0



▲21.5

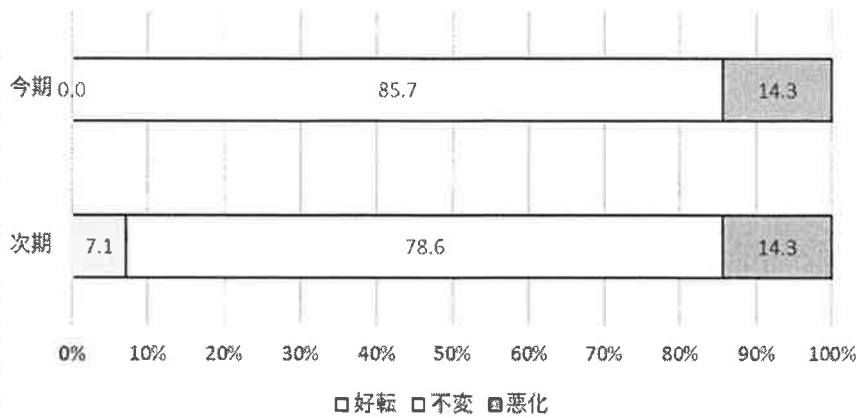


▲21.5



▲28.6

今期と次期の資金繰り比較
 <卸売業>



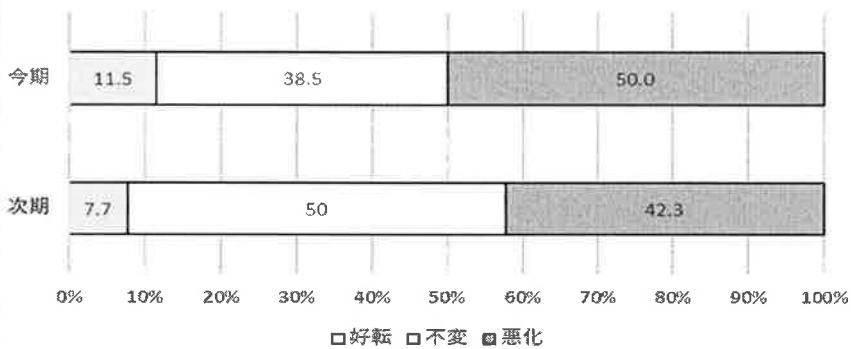
▲14.3



▲7.2

小売業

今期と次期の業況比較
 <小売業>

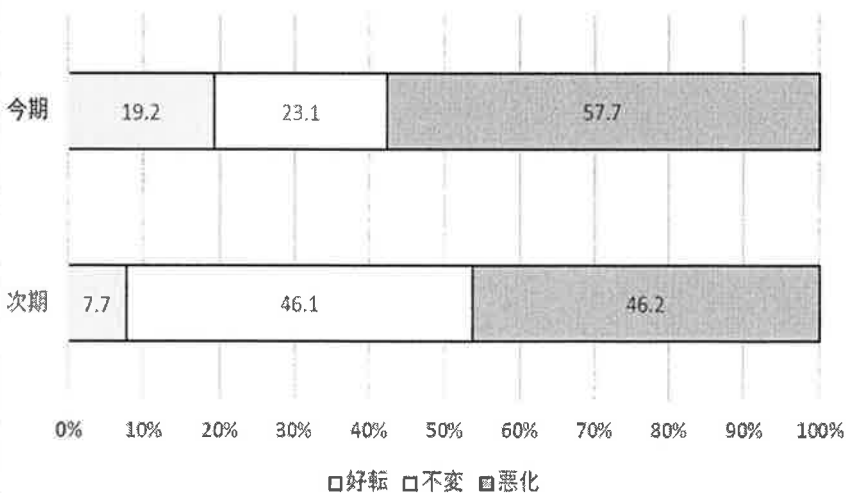


▲38.5



▲34.6

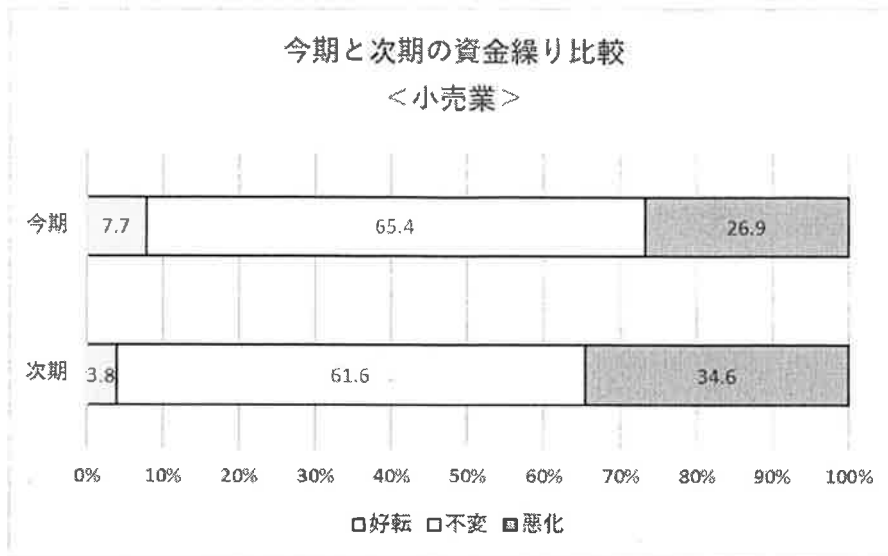
今期と次期の売上高（完成工事高、生産高）比較
 <小売業>



▲38.5



▲38.5

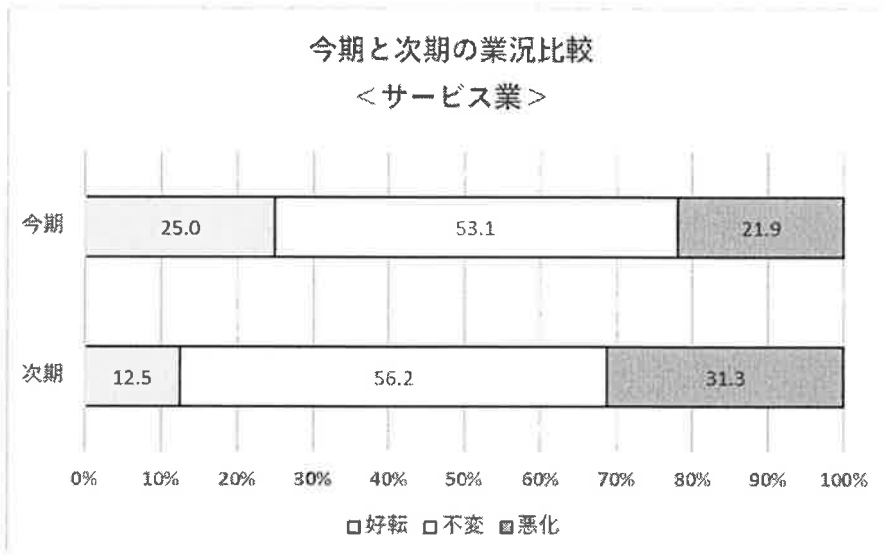


▲ 19.2



▲ 30.8

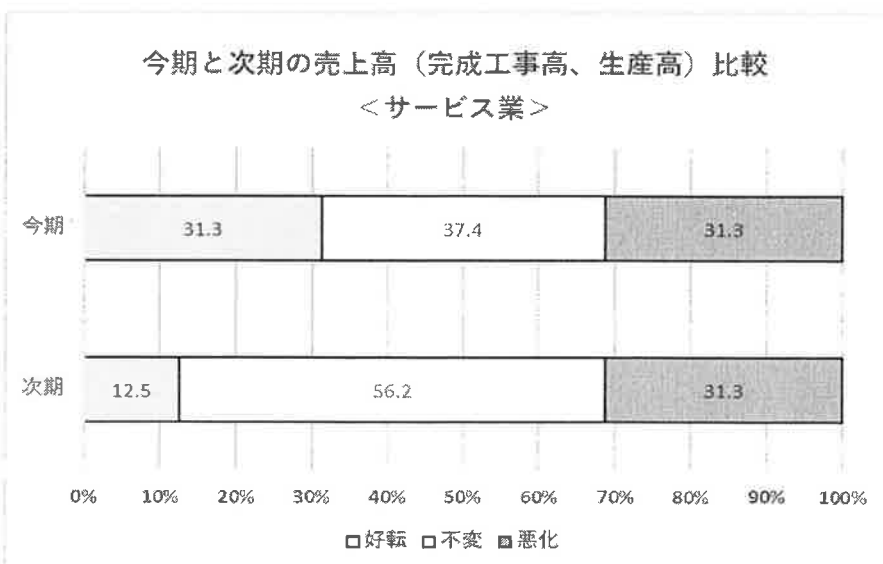
サービス業



3.1



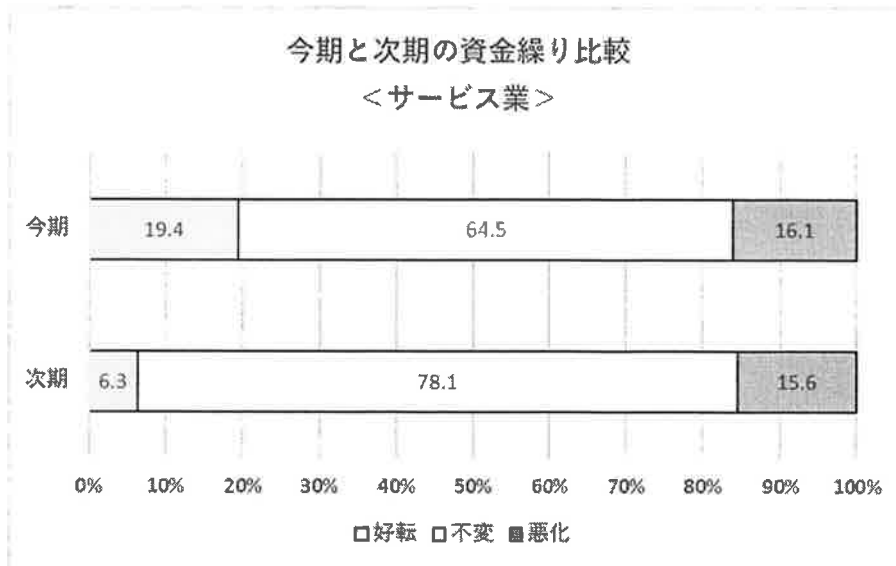
▲ 18.8



0.0



▲ 18.8

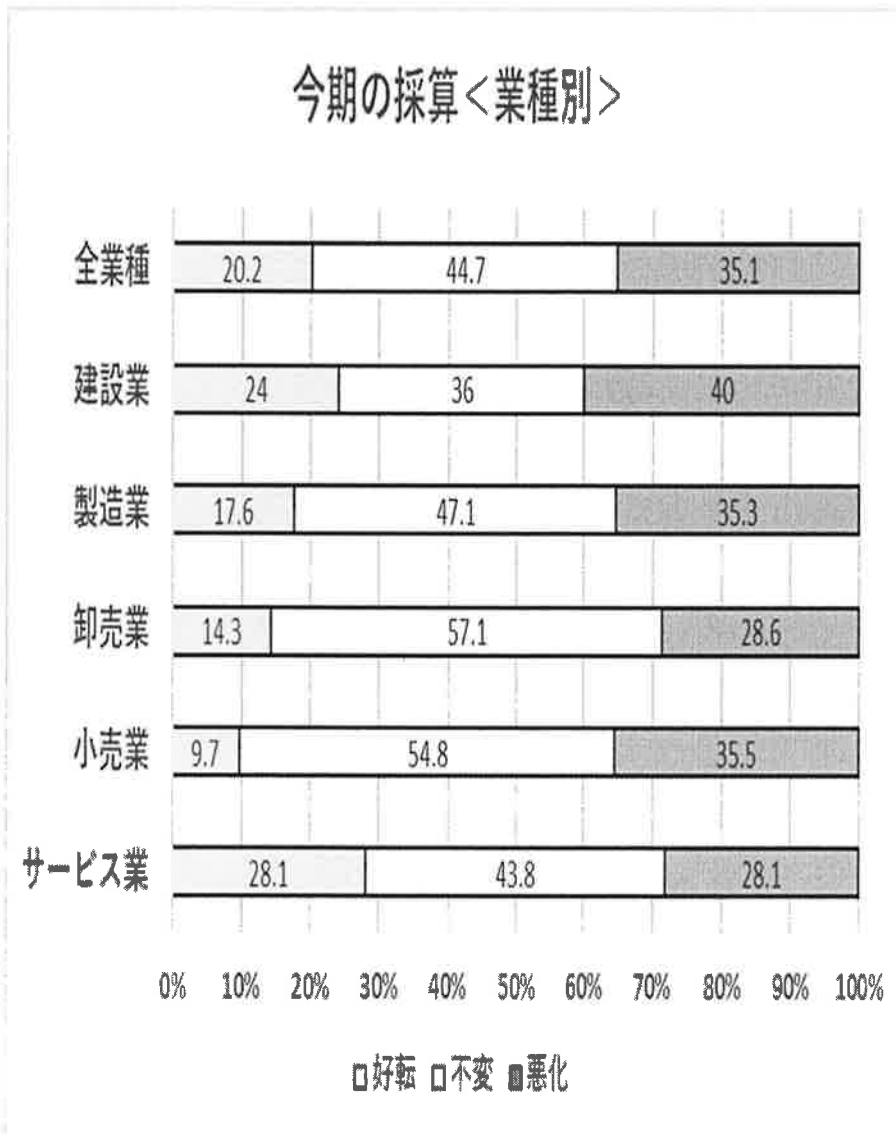


3.3



▲9.3

3-3. 採算



▲14.9



▲16.0



▲17.7



▲14.3



▲25.8



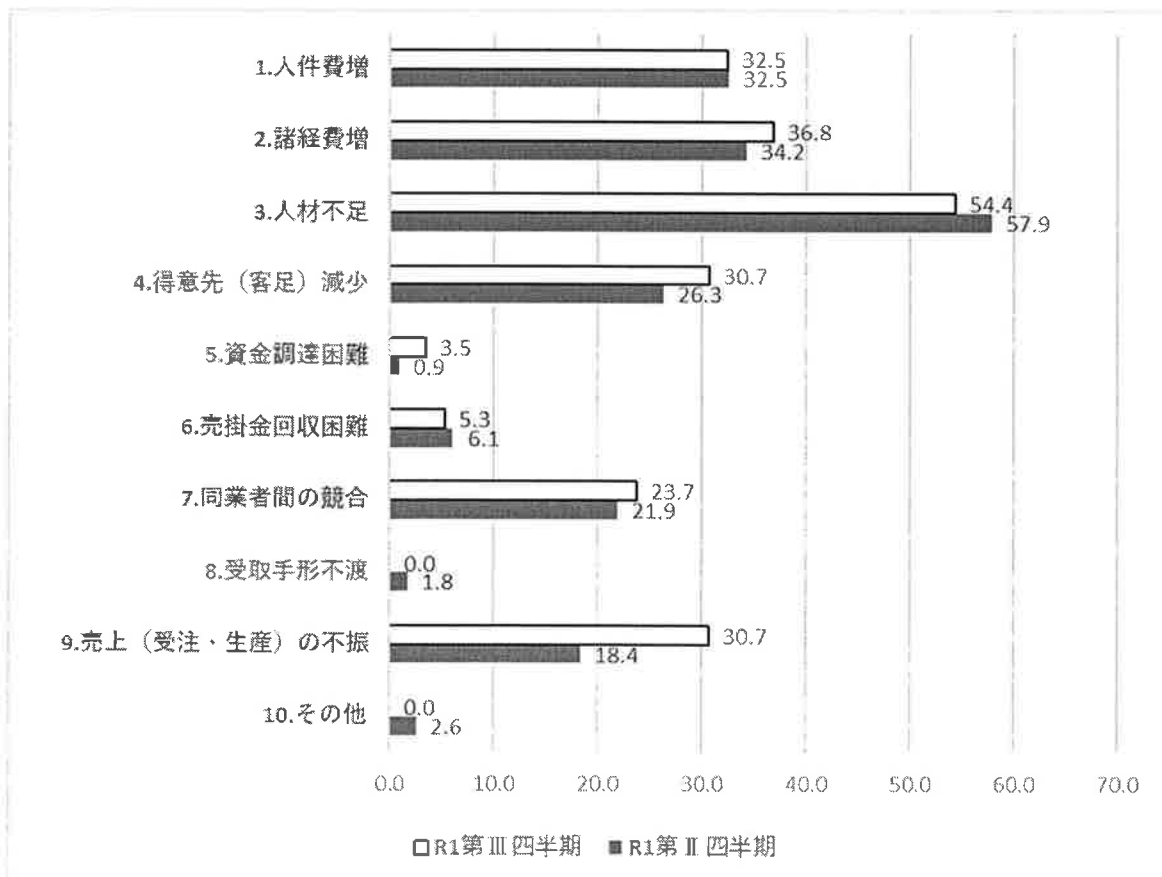
0.0

第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数

業種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	諸経費増	売上の不振	人件費増	得意先減少
製造業	人材不足	人件費増	諸経費増 売上の不振	得意先減少	同業者間の競合
卸売業	人材不足 得意先減少 同業者間の競合	得意先減少	人件費増 同業者間の競合	諸経費増	売掛金回収困難 売上の不振
小売業	人材不足	得意先減少 売上の不振	同業者間の競合	人件費増 諸経費増	売掛金回収困難
サービス業	人材不足	人件費増 諸経費増	得意先減少	同業者間の競合 売上の不振	資金調達困難
合計	人材不足	人件費増 諸経費増	同業者間の競合 売上の不振	人件費増 諸経費増	売掛金回収困難

4-2. 回答割合 (%)



注：複数回答あり

第5章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。
設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資状況	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		合計	
した	6件	24.0	7件	41.2	4件	28.6	6件	23.1	15件	45.5	38件	33.0
してない	19件	76.0	10件	58.8	10件	71.4	20件	76.9	18件	54.5	77件	67.0
無回答	0件	0.0	0件	0.0	0件	0.0	0件	0.0	0件	0.0	0件	0.0
合計	25件	100.0	17件	100.0	14件	100.0	26件	100.0	33件	100.0	115件	100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	0件	1件	1件	0件	0件	1件
店舗	0件	1件	0件	0件	4件	5件
販売設備	1件	0件	0件	0件	2件	3件
車輛運搬具	3件	0件	1件	3件	3件	10件
付帯設備	0件	3件	3件	2件	4件	12件
OA機器	1件	0件	0件	3件	1件	5件
福利厚生施設	0件	1件	0件	0件	0件	1件
その他	1件	1件	0件	0件	3件	5件
合計	6件	7件	5件	8件	17件	42件

※複数回答があるため、表5-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(4件記述あり)

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・雪不足の為、除雪業務の売上が減少。
- ・見積もりと契約した時は消費税が8%でしたが、10月以降完成した施主様は10%適用となる為、実質2%の消費税分は自社で吸収しなければならず利益が減ることになります。決算を迎えるまで今年は心配です。
- ・網走市内、周辺地域に仕事が少なくなってきている。今期R元年10月～12月特に感じた。
- ・冬季仕事減少。人材不足と高齢化。

【製造業】

- ・慢性的な原料不足と原料高。
- ・廃業が昨年管内で23件。全体の仕事量が減少している。昨年春より資材が10～30%値上がり。価格に転嫁が難しい。
- ・物流費の上昇、原料費の上昇。低価格化、利益率の低減、農家（生産者）の減少。
- ・世界的な情勢（業界の）変化による販売価格の変動。秋サケの不漁による原料仕入れコストの増加。中国、ペルーの情勢変化による、販売価格変動。

【卸売業】

- ・消費税の増税の内容とそもそも消費税の意味が分かっていない会社が多い。

【小売業】

- ・軽減税率がわかりにくいとの声がお客様よりあります。
- ・ふるさと納税の市の対応が総務省の関係で遅れた。台風の影響で国内客減少。
- ・キャッシュレスになって手数料が増えているので経費アップになっている。

【サービス業】

- ・消費税増税後の影響（多分）。国内、海外からのパッケージ型商品造成の減少。海外の政情不安による顧客減少。
- ・数年来12月、1月の売上の低迷。かつては忘年会、新年会等で飲食業は繁盛月だったが、近年は宴会個人利用共に減少している。
- ・売上は変わらず。
- ・昨年夏の増築時の営業休止期間からの影響が続いている。
- ・昨年10～12月は売り上げ増となりましたが一時的な要素が強いと思います。今後はまた業績が厳しくなると予想しています。
- ・冬季間の工事発注（公共工事）減少による、通年を通しての働き手の雇用が難しく、業界的に人材不足の原因と考える。